

2024年度マテリアリティ（重要課題）の達成状況

資源の有効活用

産業副産物の有価物利用

各工場・各事業所から排出される産業副産物の有価物利用促進(資源の循環利用)

◆主な取り組み

- ・ライムケーキ(炭酸カルシウムを主成分とする製糖副産物)を土壤改良剤として農地に還元
- ・石炭灰をセメント原料等として有効利用

◆2030年度目標	◆2024年度目標	◆2024年度実績	◆達成状況
産業廃棄物の有効利用率 95%以上	95%以上	98%	○

※達成状況 ○=目標数値を大きく超えた ○=目標数値を超えた △=目標数値に僅かに到達せず ×=目標数値にほど遠い

水資源使用量削減

各工場・各事業所における水資源使用量を削減

◆主な取り組み

- ・冷却塔導入による工業用水の有効利用
- ・原料てん菜貯蔵パイル(貯蔵堆積場)での散水の削減

◆2030年度目標	◆2024年度目標	◆2024年度実績	◆達成状況
製糖工場での取水量削減率 10% (2013年度比)	8%	15%	○
原料貯蔵場での散水量削減率 100% (2020年度比)	50%	60%	○

※達成状況 ○=目標数値を大きく超えた ○=目標数値を超えた △=目標数値に僅かに到達せず ×=目標数値にほど遠い

2024年度マテリアリティ（重要課題）の達成状況

省エネ・省人省力・省資源

原料輸送から販売において、効率化を目指し、省エネ・省人省力・省資源を図る

原料や製品の輸送過程における効率化を促進

◆主な取り組み

- ・原料輸送車の1台当たりの輸送量増加
- ・原料の直接搬入割合増加による構内搬送の削減

◆2030年度目標	◆2024年度目標	◆2024年度実績	◆達成状況
大型車両割合 60%	42%	40%	△
原料の直接搬入割合 82%	72%	69%	△

※達成状況 ◎=目標数値を大きく超えた ○=目標数値を超えた △=目標数値に僅かに到達せず ×=目標数値にほど遠い

原料の貯蔵管理作業における省力化を促進

◆主な取り組み

- ・原料てん菜貯蔵パイル(貯蔵堆積場)の品質管理にデジタル技術（無線温度計）を活用
- ・体積測定用アプリを使い、スマートフォンで農家貯蔵堆積原料の残量を測定

◆2030年度目標	◆2024年度目標	◆2024年度実績	◆達成状況
温度管理に要する作業時間 100時間削減 (2020年度比)	100時間削減	100時間削減	○
体積測定アプリ活用の全面導入	体積測定方法の精度向上	・複数のアプリで実証試験を実施 ・精度の高い測定方法の絞り込み	○

※達成状況 ◎=目標数値を大きく超えた ○=目標数値を超えた △=目標数値に僅かに到達せず ×=目標数値にほど遠い

各事業所における資源の循環利用や従業員の意識浸透を促進

◆主な取り組み

- ・事務用品(クリアファイル、クリップ等)の再利用
- ・ポスター、掲示板、社内報等による節水・節電の啓蒙活動

◆2030年度目標	◆2024年度目標	◆2024年度実績	◆達成状況
事務用品再利用の浸透 (再利用コーナーの継続運用)	再利用コーナーの管理	再利用コーナーの管理	○
節水・節電の社内啓蒙活動の充実・浸透 (各取り組みの継続実施)	全社での意識浸透	ポスターによる 啓蒙活動を実施	○

※達成状況 ◎=目標数値を大きく超えた ○=目標数値を超えた △=目標数値に僅かに到達せず ×=目標数値にほど遠い

2024年度マテリアリティ（重要課題）の達成状況

脱・省プラスチック

当社製品に使用されるプラスチック・ビニールなどの包装容器類について、削減並びに代替資材類の使用を目指す

◆主な取り組み

- ・砂糖製品へのバイオポリエチレンの採用
- ・リニューアル品への環境対応素材の採用
- ・紙筒既存製品の普及
- ・生分解性を高め環境負荷を低減する原紙や規格の新規開発
- ・農業界での認知度の拡大、消費者を含めた脱プラ意識を高める

◆2030年度目標	◆2024年度目標	◆2024年度実績	◆達成状況
業務用砂糖製品の包装容器に 環境素材を導入	<ul style="list-style-type: none">・バイオマス10%包装品一部 ユーザーへのテスト納入継続・バイオマス比率UP素材（20%） のテスト製造	<ul style="list-style-type: none">・バイオマス10%包装品一部ユーザーへのテスト納入を継続実施・20%は落下テストにおいて衝撃耐性がないことを確認	△
環境負荷軽減となる 包装資材の採用	バイオマス比率UP素材の調査	バイオマス比率UP素材調査実施、 現状では20%以上のバイオマス比率 UPは難しいことを確認	△
新素材チェーンポット 普及促進	<ul style="list-style-type: none">・紙マルチの普及推進・新素材チェーンポットの供給開始・紙筒ホームページリニューアルにより 認知度の拡大と新たな顧客の開拓	<ul style="list-style-type: none">・紙マルチの販売開始・新素材チェーンポット2025年度に 供給延期・国内・海外向け紙筒関連 ホームページリニューアル実施	△

※達成状況 ◎=目標数値を大きく超えた ○=目標数値を超えた △=目標数値に僅かながら到達せず ×=目標数値にほど遠い